



ボランティア センターだより

第29号
2026年3月19日

中学生が災害ボランティアセンター 運営訓練を体験しました



令和7年11月16日、令和7年度宮崎県総合防災訓練（えびの市版）が、えびの市防災食育センターを拠点に実施されました。社会福祉協議会では大規模災害が発生した際、災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者の一日でも早い生活再建のため支援活動を行います。今回の訓練では中学生に災害ボランティアセンターのボランティア役、運営スタッフ役に分かれての体験や、ハイゼックスを使った非常食づくり、避難所設営などの体験を通し、防災意識の向上と災害への備えについて学んでいただきました。参加いただいた皆様ありがとうございました。



福祉体験学習

3年生 33 名

4年生 25 名

全学年 10 名



R8.1.15 実施

加久藤小学校



R7.12.8 実施



岡元小学校



R7.12.16 実施



加久藤小学校 3.4 年生、岡元小学校全校生徒による福祉体験が行なわれました。高齢者の疑似体験や車いす体験、アイマスク体験を通し、介助方法や視覚障害者の方への接し方について学んでいただきました。※左図は加小 3 年生からのお手紙です。



カレーの日（こども・地域食堂）

12 月河野県知事が視察に来られました

飯野高校生が楽しい遊びを企画してもらっています



ボランティアさんいつも美味しいカレーをありがとう

えびの市ボランティアセンターでは、カレーの日「こども・地域食堂」を毎月 1 回開催しています。調理や会場運営は主にボランティアが中心で行っており、飯野高校生も毎回協力してもらっています。カレーの日「こども・地域食堂」は、子供や保護者だけでなく、地域の誰でも参加できる居場所です。時間は 10 時～12 時 30 分の間で開催していますので、是非遊びに来てください。開催案内は、右記二次元コードよりLINEお友だち追加で確認できます。



子育て応援事業
(カレーの日開催案内)

視覚障害者福祉会の施設研修をサポート（えびの朗読会・やまびこ）

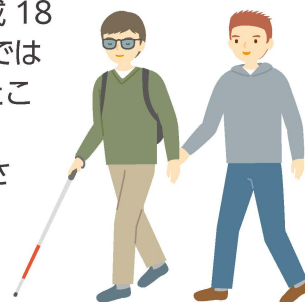


えびの市視覚障害者福祉会では、ボランティアさんの協力のもと、さつま町の鶴田ダムを見学されました。甚大な被害をもたらした、平成 18 年の大雨災害以降、鶴田ダムでは大規模な改修工事が行われたことについて説明を受けました。

展望所では、ボランティアさん

さんから鶴田ダムの情景を説明してもらい、昼食時は、お皿やコップの位置など、手を取り上手に説明していただき、皆さん安心して食事をしていただくことができたようです。

ボランティアの皆さん、ご協力ありがとうございました。 R8.2.18 実施



JA えびの市青年部からお米の寄付

令和7年12月10日、えびの市JA青年部様より市内こども食堂3ヶ所(飯野・真幸まちづくり協議会、えびの市社会福祉協議会)、およびこども宅食(えびの市社会福祉協議会)に対して、お米を16俵の寄付を頂きました。このお米は青年部の方々が市内小学校の子どもたちと一緒に育てたお米で子育て事業に役立ててほしいと寄付して頂きました。大変感謝いたします。

また、令和8年2月19日、えびの市社会福祉大会にて、食糧寄付「フードドライブ」にご協力いただきました市民の皆様、大変ありがとうございます。皆様のお気持ちを届けたいと思います。

えびの市社会福祉協議会では生活にゆとりのない子育て世帯に対して、令和2年12月よりこども宅食事業を実施しています。この度、本大会で、食料支援を継続的に実施していただいている企業様に対して、感謝状を贈呈いたしました。本当に感謝申し上げます。

企業様名)丸正フーズ様、レクスト様、東康夫養鶏場様、東養鶏場様



12月10日えびの市JA青年部よりお米の寄付



2月19日社会福祉大会感謝状贈呈



2月19日社会福祉大会時に寄贈いただいた品物

更生保護女性会「みやざき青雲」慰問

令和8年2月20日、えびの地区更生保護女性会では宮崎市にある「みやざき青雲」施設へ会員20名で慰問に行きました。みやざき青雲は保護観察者等の社会復帰をめざす更生施設です。女性会では、社会復帰のための一助になればと、お米やタオル、洗剤など身の回りの生活用品を寄付で集め、お届けしました。施設管理の方より施設の概要や入居者が社会復帰のために努力されているお話を伺いました。

また、その後、少年鑑別所の視察研修を行い、少年の非行の実情について学びました。改めて、犯罪を起こさない社会をつくることの大切さを痛感いたしました。

更生保護女性会では、地域社会の犯罪や非行の未然防止のための啓発活動を行っています。活動にご興味のある方は社会福祉協議会までご連絡下さい。



～お話し相手ボランティアを派遣します～



傾聴ボランティア『ひまわり』

「誰かに話を聴いてほしい! 誰かと話をして楽しい時間を過ごしたい!」など、話し相手を探している方、お気軽にご相談ください。

活動内容

市内在住の高齢者の方を対象に、ご自宅に伺いしお話し相手になります。利用料は無料です。

活動時間

土日祝日を除く、午前10時～午後5時の間で、月1回1時間程度の活動です。ボランティア2名でお伺いします。

傾聴ボランティアのご相談は

えびの市ボランティアセンターまでお問い合わせ下さい。

TEL 35-2800



※ボランティアは、えびの市ボランティアセンターが主催する、傾聴ボランティア養成講座修了者で、空き時間で活動されています。訪問日時については、利用者の方とボランティアとの調整により決定いたします。

令和8年度 ボランティア活動に関する保険の加入手続きが始まりました

継続して加入を希望される個人や団体は、お早めにお手続きをお願いします。

●補償期間 2026年4月1日～2027年3月31日 ●保険料 基本プラン: 350円、天災・地震補償プラン: 500円



こども服・おもちゃ・育児用品などをご提供ください!

えびの市ボランティアセンターでは、不要になった“こども服・おもちゃ・育児用品”などを欲しい方にお譲りする「お譲り会」を開催しています。「買ったのに着てくれなかった。捨てるにはもったいない。程度が良いので誰か必要な方に使ってほしい。」など、ご寄付いただける方は、えびの市社会福祉協議会にお持ち寄り下さい。

ご寄付時の注意点とお願い

※お譲りいただいた品で、長期にわたり引き取りのないものに関しては、こちらで処分させていただく場合がありますので予めご了承ください。

こども服・・・未使用品や状態のよいもの。

おもちゃ・・・目立つキズや汚れがなく壊れていないもの。

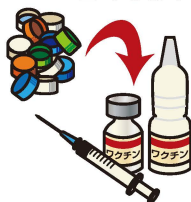
育児用品・・・部品等に不足が無く安全に使用できるもの。

その他・・・上記以外については、持込前に一度ご連絡をお願いします。



収集ボランティア活動報告

収集ボランティア活動にご協力いただきありがとうございます。令和7年度は568キロのエコキャップが集まりました。集まったエコキャップはリサイクル業者を通じて「世界の子供にワクチンを日本委員会」へ寄付させていただきました。ポリオワクチンで換算しますと85人分のワクチンを購入する事が出来るそうです。ワクチンは開発途上国の子どもたちに贈られ、子どもたちの未来を守る活動に役立てられます。いつもご協力くださる皆様ありがとうございます。



ボランティア募集中!

- ①目の不自由な方のお手伝い。
- ②カレーの日「こども・地域食堂」。
- ③高齢者宅等の草取りやゴミ出し。
- ④おはなし相手。

※上記ボランティアを募集しています。研修への受講が必要な場合もありますので、一度ボランティアセンターへお問合せください。



えびの市ボランティアセンター LINE 公式アカウント



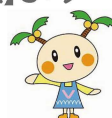
友だち追加方法
1

【友だち追加】>
【QRコード】より
QRコードを読み取る。



友だち追加方法
2

【友だち追加】>【ID検索】より
@153bgrrn
と入力。



ボランティアセンターからの情報をお届けします。是非ご登録ください!

えびの市ボランティアセンター 電話 35-2800
(えびの市社会福祉協議会) FAX 35-1983